

各地区における取組について

第2層地域支え合い推進員が各地区のネットワーク会議や地域活動に継続して関わりながら、地域の声や困りごとの把握、多様な主体との関係づくりを進めてきました。

各地区では、住民同士のつながりづくりや居場所づくりに加え、地域課題の共有や解決に向けた話し合いが行われ、それぞれの実情に応じた取組が展開されています。

また、まちぢから協議会や地区社協、民生委員・児童委員協議会といった従来の地縁組織だけでなく、社会福祉法人、介護事業所、子ども食堂、学校、地域店舗など、多様な主体との連携が広がりつつあります。

こうした関わりの中から、新たなサロンの立ち上げや学校の総合学習への協力、障がいのある方の地域活動への参加など、それぞれの強みを活かした実践が生まれています。

○第2層地域支え合い推進員とは？

茅ヶ崎市社協の地区担当職員のこと。地域の声を拾い上げ、地域にある「困りごと」と「できること」を結びつけながら、住民や関係機関が主体的に動き出すプロセスを支える役割を担っています。

移動支援・買い物支援について

各地区での活動や地域との対話を通じて、「行きたい場所があっても移動手段がない」「買い物に不便を感じている」といった声が継続して聞かれています。移動や買い物の課題は、日常生活の利便性だけでなく、地域とのつながりや社会参加にも大きく影響する課題であることが見えてきています。



1. 地域へ行く（送迎・移動支援）
福祉施設等と連携し、外へ出る手段を確保する。



移動支援は、単なる移動手段ではなく、社会参加のきっかけに。

買い物支援（移動販売）は、モノを売るだけでなく人が集まる地域の居場所に。

●移動支援について

各地区では、「地域の行事に参加したいが移動手段がない」という課題に対し、福祉施設や介護事業所と連携した送迎の取組が行われてきました。

こうした取組を通じて、

- ・地域行事への参加機会が確保され、地域とのつながりを維持することにつながったこと
- ・福祉施設、介護事業所との新たな協力関係が生まれたこと
- ・「送迎」をきっかけに、事業所が地域貢献について考える機会となったこと
- ・移動手段の確保が、社会参加や介護予防、孤立防止にもつながること

南湖地区では、送迎の実施に加え、新たなサロンが開催されました。

【南湖サロン麗寿】特別養護老人ホームふれあいの麗寿より事業所使用の協力の申し出もあり、地区南部にサロン等の会場が集中することから、地区北部にある事業所を活用し、月1回開催しています。（令和7年10月より）

などが見えてきました。



株式会社マルエツより資料提供

●買い物支援（移動販売）について

実績				<単位:千円、人、1円>									
				日付	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	6週目	7週目	8週目	
					4月20日	4月26日	5月4日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日	6月8日	
茅ヶ崎				売上高	47	35	51	129	97	111	82	121	620
				客数	36	30	34	87	70	73	49	65	409
				客単価	1,306	1,167	1,500	1,483	1,386	1,521	1,673	1,862	1,516
茅ヶ崎市鶴嶺西地区 今宿グリーンハイム	4月21日	火曜 14:30~15:00	売上高	47	35	51	38	37	60			55	186
			客数	36	30	34	28	28	34			27	124
			客単価	1,306	1,167	1,500	1,357	1,321	1,765			2,037	1,500
茅ヶ崎市湘南地区 日枝神社	5月7日	木曜 10:30~11:00	売上高				66	71	37	55	61	48	338
			客数				52	41	26	32	34	26	211
			客単価				1,269	1,732	1,423	1,719	1,794	1,846	1,602
茅ヶ崎市鶴嶺西地区 あいらの杜茅ヶ崎	5月15日	金曜 14:30~15:00	売上高					20	23	14	21	18	96
			客数					18	16	13	15	12	74
			客単価					1,111	1,438	1,077	1,400	1,500	1,297

移動販売の実施地区では、買い物機会の確保に加え、地域づくりにつながる変化が生まれています。

■今宿グリーンハイム（鶴嶺西地区）

自治会では、買い物に来られた方のための休憩スペースを設けるほか、雨天時には集会所を開放して室内で販売できるよう対応するなど、住民主体による運営の工夫が行われています。移動販売を地域で支える取組が広がることで、買い物だけでなく、住民同士の交流や見守り、支え合いの場としての役割も果たしています。

■日枝神社（湘南地区）

買い物に不便を感じる方が多いと想定された中島地区では、地域住民や関係者とともに移動販売の実施場所について協議を重ねました。実施後は、協議の中で共有していた地域ニーズと実際の利用状況が一致し、地域での話し合いを基にした場所の選定が有効であったことを確認することができました。

■あいらの杜（鶴嶺西地区）

- ・福祉施設（介護付有料老人ホーム）を地域に開かれた場として活用されています。地域住民が気軽に立ち寄れる機会となることで、施設と地域との新たな接点づくりが期待されています。
- ・施設にとっても、地域との関わり方や役割を見つめ直す契機となっています。

今後の予定：グランヴァーク茅ヶ崎（湘南地区）7/10（金）
個人宅（小出地区）7/16（木）